

らしんばん



議会報告

令和4年6月議会号



発行日 / 令和4年6月30日

発行：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

ハイライト
(目次)

- 1. 県議会6月定例会開催(概要説明) P1
- 2. 常任委員会(産業委員会)の論戦から P2
- 3. 原油価格・物価高騰等に対する農業者・漁業者および商工業者への支援 P2・3
- 4. ふじのくに安全安心認証(飲食店)制度活用消費喚起事業費(6月補正予算) P3
- 5. 新素材(CNF)の富士市産官学連携拠点 P4
- 6. 視察・研究報告、国へ提出される意見書 P4
- 7. 地域の課題と進捗状況、ホットなつぶやき P4



ハイライト

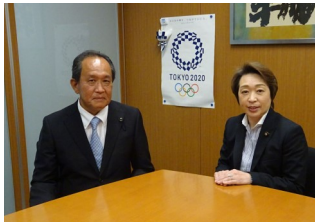
菅前首相と会議で同席。官房長官8年、首相として1年の実績に基づき、ふるさと納税導入や感染症対策を聞いた。



新造された静岡県漁業調査船「駿河丸」を視察。最先端の航法装置や海洋調査設備などで活躍を期待。



富士市が県に対する今年度要望の結果を富士市幹部から説明を受けた。市・県連携の重要性を確認。



JOC橋本聖子組織委員長を訪れ、東京五輪を振り返り自転車競技会場となった本県の継続支援を要望。



CNFでお世話になっている現内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局の渡邊氏から助言を受ける。



県議会6月定例会の産業委員会で、上程された議案や所管事務に関して当局を質す。内容は本紙別途参照。

1. 県議会6月定例会開催(概要説明) 【6月14日～7月1日まで】

今年度初の定例会であり、今年度は県の総合計画「静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン」の初年度で今後4年間の取組が始まりました。コロナ禍により「東京時代から地方時代へ」の動きをにらみ、県政運営が加速します。

喫緊の課題は、ロシアのウクライナ侵攻などの影響により、原油価格・物価高騰等が続いており、食料や原材料、エネルギー価格等が高騰し、県民の暮らしや企業活動など、幅広い分野に影響が広がっています。6月補正予算では、これらに対する対策内容が重点的に盛り込まれました。この他、新型コロナウイルス感染症対策など、総額は一般会計98億5,300万円となっています。

事業者への支援では、原油価格高騰の大きな影響を受けている第1次産業や運輸業の事業者に対する事業の継続支援があります。農業者や漁業者の燃料費・飼料費への助成は対象期間を延長するほか、鉄道やバス、タクシーなどの交通事業者が誘客を図る取組を支援します。

急激に高騰するエネルギー価格に対応するため、省エネ設備の導入支援の対象拡大や、中小企業の資金繰りや新しい分野へのチャレンジ等を支援するため、県制度融資の融資利率の引き下げを実施します。また、デジタル化や新サービスの開発支援を拡充します。

感染症対策のための県の「安全・安心認証制度」を活用し、消費喚起策を導入します。これには幅広い業種を対象とするとしています。

生活困窮者対策は既に取り組んでいますが、個々の実情に応じたきめ細かい支援を進めます。

若者やひとり親等の孤立を防ぐため、SNSを活用した相談窓口の開設日や時間の拡充、食材価格の高騰の影響を受ける学校給食費等について、保護者負担の軽減にも取り組むとしています。

新型コロナウイルス感染症対策では、高齢者施設等への検査キットの配布など、職員等の検査体制の強化を進めます。また、感染者に経口治療薬を投与できる入所施設の登録を促進し、現在は全体の約7割まで体制が整っています。

マスクの取り扱いについては、県の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議で議論したので、県民に対しマスクを外してよい場合を具体的に示すとともに、様々な場面に対応できるよう、マスクの常時携帯をお願いしていくとのことでした。

その他、被災から1年目を迎える熱海市伊豆山地区土砂災害に関し、行政対応の改善、損害賠償請求訴訟における県の関わり、依然として災害が発生するリスク対応、復旧・復興などについて報告がありました。

今年度は、県議会産業委員会委員・静岡県監査委員に就任



鈴木すみよしブログ 検索

2. 常任委員会(産業委員会)の論戦から(質問項目概要)



6月補正予算関係は、国の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に伴い、原油価格高騰やロシアによるウクライナ侵攻に起因する食糧等不足及び長期にわたる感染症の経済に与える影響回避と、中小企業支援が主な補正予算として盛り込まれました。さらにデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した取り組みでは、ICT人材教育、次世代施設園芸デジタル化支援、森林・林業イノベーション推進などの支援策が盛り込まれています。

補正予算の財源は、その多くが国庫支出金で、改めて地方は国によって財政的に支えられていることが分かります。

このほか、昨年7月に熱海市伊豆山地区で発生した土石流の原因究明や、請願も出されている函南町大規模太陽光発電設備に関し、両方に関係している森林法の解釈やそれに基づく県の指導内容について多くの委員が質しました。

森林法は乱開発を食い止める最後の砦の一つで、この法に基づく地方自治体の、特に県がどこまで踏み込んで指導したかが焦点となっています。質問者側の共通した認識は、県の対応の甘さを指摘し、その実態を確認するために今後

はさらに詳しく調査していくことになります。

私が当局を質したのは、県内の既存の複数の食肉センターを廃止して新たに菊川市内に設置を計画している新食肉センターの取り組み状況についてや、過日、富士市内に開所した「富士市CNF連携拠点」の開設に関し、基礎研究と応用研究の両機能を備えたラボが誕生し、国内唯一の研究環境が整ったことで、県として今後のCNFを活用した新産業化への新たな方針等を明確にすべきであること。原油価格高騰などであえぐ荒茶工場への支援策として、燃油以外にも一部で使用されているLPGが今後はクリーンなエネルギー転換で増えていくことが予想されることから、それをにらんだ支援策について質問しました。

そのほか、企業局関係では、工業用水事業と水道事業に関し、感染症や原油高騰に伴う社会活動の転換や持続可能な企業活動による水利用に関する節水や再利用などの動きが、今後の企業局の経営にどのように影響していくのか質しました。企業局は民間企業と同様の経営実態なので、赤字化は避けなければなりません。県内企業や県民生活を支えてただけに、経営の安定化を目指し更なる努力が求められています。

3. 原油価格・物価高騰等に対する農業者・漁業者および商工業者への支援

<施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費助成>

区分	内容	お問い合わせ先
対象者	施設園芸農家	農芸振興課 野菜振興班 (電話) 054-221-3299 (メール) nogei@pref.shizuoka.lg.jp
対象経費	基準価格を超えた燃油代	
補助率	1/2以内	
対象期間	R4年4月~6月	
申請先	県内各農業協同組合	
申請期間(予定)	R4年8月~9月	

<飼料価格高騰緊急対策事業費助成>

区分	内容	お問い合わせ先
対象者	畜産農家	畜産振興課 畜産技術班 (電話) 054-221-2705 (メール) chikusan@pref.shizuoka.lg.jp
対象経費	基準価格を超えた飼料代ほか	
補助率	1/2以内	
対象期間	R4年4月~9月	
申請先	静岡県配合飼料価格安定基金協会等	
申請期間(予定)	R4年8月~9月、R4年12月~R5年1月	
備考	自家配合飼料を使用する畜産農家を対象に追加	

<荒茶工場燃油価格高騰緊急対策事業費助成> **新規**

区分	内容	お問い合わせ先
対象者	茶工場	お茶振興課 お茶振興班 (電話) 054-221-2674 (メール) ocha-shinko@pref.shizuoka.lg.jp
対象経費	基準価格を超えた燃油代(LPGは検討)	
補助率	1/2以内	
対象期間	令和4年4月～10月	
申請先	県内各農業協同組合	
申請期間(予定)	R4年8月～	

* このほか、**漁業用燃油価格等高騰緊急対策事業費助成**もあります。

<ふじのくに安全・安心認証(飲食店)制度活用消費喚起事業費> 詳しくは「4. ふじのくに・・・」を参照。

区分	内容	お問い合わせ先
内容	プレミアム付き電子食事券の発行	商工振興課 商工振興班 (電話) 054-221-3648 (メール) ssr@pref.shizuoka.lg.jp
プレミアム率	25%	
発行総額	100億円	
利用店舗	ふじのくに安全・安心認証店(飲食店)	
利用期間(予定)	R4年8月中～12月	

4. ふじのくに安全安心認証(飲食店)制度活用消費喚起事業費(6月補正予算)

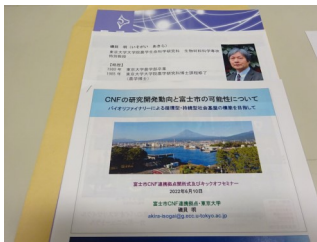
- ・飲食店の支援を通じて、食材供給生産者や関連事業者も応援
- ・店舗側の負担が少なく、速やかな換金が可能なデジタル方式を採用
- ・電子決済システムの導入の有無を問わず、県下全域の認証店が参加可能

	①既存プラットフォーム(LINE等を想定)で電子食事券を購入	②店舗で食事券を利用	③レジでQRコード読み込み支払金額入力
利用者			
参加店舗	①事務局より送付されるQRコードを店頭へ設置 	②客が入力した金額を確認 	③事務局より利用金額に応じて入金(申請不要) 

5. 新素材(CNF)の富士市産官学連携拠点(静岡県富士工業技術支援センター内)が開所



関係者による新たな研究施設の看板が会場で紹介された後、施設入り口に設置された。



開所式後は、早速、磯貝明特任教授による基調講演が行われた。改めてCNF開発の苦労と期待が込められていた。



磯貝明特任教授と内閣府渡邊政嘉審議官との記念撮影。撮影後は施設の活用について貴重な意見をいただいた。

私は関わった8年前からCNFの可能性に期待し「紙のまち」として歩んできた地元富士市の将来像を、紙と同じ原料を用いたCNFに賭けることにしました。富士市は原料となる森林が多く、紙づくりで培った技術が豊富な多くの企業の存在など、産業化には十分な環境が整っています。

また、企業の現場にはCNFについての技術力を持つ人材やそれを支える育成機関も必要であり、私も声を上げてきました。

特性を生かし、保温性と安全性などを求める化粧品や食品、耐久性や軽量化などを生かしたシューズ、ここ数年課題となっている感染症における医療現場に必要なガウン、プラスチックごみが社会的な問題となっておりプラスチック製のストローやスプーンなどの代替品、そしてさらに期待が大きいものはEV化や燃料電池などの導入が進む自動車分野への応用で自動車の強度を維持しながら軽量化できるなど実用化が進んでいます。

施設内には、既に静岡大学青木憲治先生による応用化に

向けた研究室が稼働しています。それに加え、今回は

◆6月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 物価高騰から国民生活及び経済を守る対策を求める意見書
 - ② 唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向けてより一層努力することを求める意見書
 - ③ 危機管理的視野に立ったエネルギー政策を求める意見書
 - ④ 犯罪被害者等に対する支援の充実についての意見書
 - ⑤ 消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書
- この他、「台湾の世界保健機構(WHO)へのオブザーバー参加を求める意見書」も採択されました。

♥ホットなつばき

熱海市の土砂災害、函南町大規模太陽光発電設備など、大規模な森林伐採による災害リスクについて議論が深まった。地元富士市も同様な問題が突きつけられ、対岸の火事とならぬよう、当事者意識で対応していきたい。

県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ!

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

CNF基礎研究では世界をリードする東京大学磯貝明先生が研究室を開設していただきましたので、他を見ても類のないCNF支援の総合研究拠点ができました。

磯貝先生はこの日、県からもCNF特任アドバイザーとして委嘱されました。さらにCNFの普及に当初から経産省として携わっている、現在の内閣府地方創生推進室審議官の渡邊政嘉氏も応援に駆けつけ、CNF製品化に取り組む多くの企業関係者も参加し、国、県、市と産官学の連携の強化を象徴する式典となりました。

今後この拠点をどのように活用していくのか、成果が問われます。

6. 議会外の視察・研究報告



浜松市遠州灘篠原地区に建設予定の県営野球場の参考とするため、福岡県筑後市のタマホーム球場を視察。



会派の同僚が一般質問のため港湾関係の視察先に田子の浦港を選択。同行して管理事務所から説明を受けた。

7. 地域の課題と進捗状況 (各地の要望等から)



富士市まちづくり協議会が独自の活動を始めた。須津地区ではNPO法人を立ち上げ、まちづくりセンター運営に移行。



滝川中流域の土手から大きくはみ出た茂みは、降雨の時期を迎え、水位が上昇した場合の危険性を地元から指摘。



富士市水防団の雨期前現地調査において指摘された、須津川に架かる沼津線市道橋下の河床の土砂堆積を確認。



地元東比奈区有林の下草刈が3年ぶりに住民が参加して実施。笹が長く伸び愛鷹山麓の急傾斜地の作業は難航。

発行者：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>

